



# 天のあたまも ちがう事だし

教祖が親しく筆をとって書きのこされた「おふでさき」は、教祖が現身を隠されて40年以上たった昭和3年4月より、ようやく公刊されました。

それまでは密かに「おふでさき」を書き写すという形で、限られた人々が所持していたものを初めて公にされ、これによって多くの人々が初めて間違いのない教祖の教えに触れ、その最大の眼目はおつとめの完成にあることに確信を持つことができたと言えましょう。

つとめさいちがはんよふになあたら  
天のあたまちがう事なし (十号34)

元のぢばを囲んで勤められる「かぐらづとめ」は、人間創造の理合いを現代に再現されるおつとめで、親神様の十全の守護を現しています。そして教会のおつとめは、この理を受けて勤められます。

教会の月次祭や大祭が、教祖にお教えいただいた通り、間違いなく勤められるようになったなら、親神様のご守護も欠けることはないと仰せられています。

おつとめは元の理に学び、「澄み切った素直な心」「二手一つの心」「勇んだ心」でつとめさせていただきます。

本島大教会布教部(為)



天理教本島大教会